

# さくら

題字 足立区長 近藤 やよい  
足立区民生・児童委員協議会だより

### 発行

足立区民生・児童委員協議会  
会長 小久保 隆  
編集 広報委員会  
発行日 2018年3月1日  
〒120-8510  
足立区中央本町1-17-1  
TEL 03-3880-5870

東綾瀬小 六年  
「六年間いっしょに  
学校に行ってくれてありがとう。  
いっしょに登校した日々をわすれないよ。」

木村 光 作



## 目次

各種表彰受賞者名簿	2
東京都民生委員・児童委員大会	3
100周年記念祝賀会	4
部会長紹介	5
「ふれんどりい」紹介	6
町会自治会「地域を訪ねて」	7
ふらり足立「花畑大鷲神社」	8
編集後記	



## ご挨拶

式典・事業部会部会長 市村 智

昨年は民生委員制度創設100周年という大きな節目の年でございました。100周年を記念して天皇・皇后両陛下をお招きした全国民生委員児童委員大会をはじめ、各地で様々な記念事業が行われました。

我が足立区でも区切りの年を記念してこれまで先人の方々が築き上げてきた民生委員制度を振り返りながら、これからの活動の在り方を考えようということで福田豊前都民連会長をお招きしての全員研修会、そして3年に一度行っております全員食事会を記念祝賀会として行うことに致しました。記念誌部会のほうも十分に編集会議を重ね素晴らしい記念誌が出来上がったと聞いておりましたので、式典・事業部会としても

記念祝賀会が思い出に残る素晴らしい会になるよう部会員の皆さんと会議を重ねました。当日はこれまで民生児童委員と関わりがあり、福祉部において福祉活動にご尽力頂いた歴代の部長さん、課長さん、係長さん方にもお忙しいところおいで頂き盛大に行うことができたのではないかと部会員も喜んでおります。これからもこの100周年を機に少しでも地域福祉の向上を図る活動ができるよう皆で頑張りましょう。最後になりましたが今回の事業に対しいろいろとご指導を頂きました中田前特別顧問、宮崎前連合会長に御礼申し上げます。そして部会員の皆様にはいろいろな面でお骨折りに頂き感謝申し上げます。ありがとうございました。



# 平成29年度民生・児童委員各種表彰受賞者名簿



[ ]内は基準日（敬称略、合同・地区・番号順）

## 全国民生委員児童委員連合会会長表彰

〔平成28年11月30日現在〕

### 民生・児童委員功労者表彰

在職20年以上の方（1名）

隈元 千代子

### 永年勤続民生・児童委員表彰

在職10年以上の方（97名）

井口 保雄	宮本 勝男	中根 昇	大久保柳子	齋藤 祐子	高木眞由美	池田 信江
宮崎 保子	高橋志保子	横山 堂侑	小林 尚子	関澤 和恵	堀口 幸子	鈴木美智子
松本はな子	藪下奈穂美	中田美佐子	鶴池 孝子	坂井 成一	染谷 和恵	高田八重子
梶本三重子	清水あけみ	椎名 洋子	山崎 勝	大西 仁子	内藤 久子	田中美代子
鈴木紀代美	大熊 園江	伊藤 友子	溝呂木節江	渡邊 進	藤波 光昌	桐田 幸子
小張 悦子	藤沼眞由美	羽曾部光子	葉本 喜信	吉澤はる江	長尾 幸江	松浦美佐江
市村 智	山崎 道子	清水 敬子	伊藤 郁子	金子万利子	秋本 雅信	近藤真理子
土田 信也	茂出木幸子	茂出木直美	鈴木 房子	大庫 悦子	清水 佳子	宇田川幸栄
渡辺 章子	館山 慶子	矢萩 早苗	小山ケイ子	小宮 良子	江川せつ子	矢島 兼孝
原田やよひ	横田 夏夫	小宮 謙治	丸山まさ子	馬場 伸子	松本 尚正	北川富美子
福岡佳須子	藤波 孝	岩井 正行	柴田 祐子	小口よし子	小川 玲子	谷古宇眞由美
増田 優	坂田 誠	桑原美恵子	関根 恵子	古庄 行夫	下岡 博子	小島千恵子
草間 雅子	高橋登志子	山下 節子	小宮俊一郎	大山 光子	塩田 博子	石川 祥江
浅古 有文	堀 公子	北村 信也	野口 義雄	鈴木由美子	須賀はる子	

## 都 知 事 表 彰

〔平成29年10月1日現在〕

### 規則表彰

在職20年以上の方（4名）

関根 純子 坂野 正章 川島恵美子 栗原 和子

### 特別功労

在職17年以上の方（4名）

清水あけみ 大庫 悦子 高橋登志子 山下 節子

### 一般功労

在職10年以上の方（3名）

海野 正子 早川 元康 青木てる子



▲特別功労賞受賞 高橋 登志子委員

## 東京都社会福祉大会会長表彰

〔平成29年10月1日現在〕

### 東京都社会福祉協議会会長表彰

在職9年以上10年未満の方で、都民連の推薦による（1名）

中崎 幸子

## 足立区表彰

〔平成29年10月1日現在〕

### 社会福祉功労（民生委員・児童委員）

在職10年以上の方（3名）

海野 正子 早川 元康 青木てる子



## 第71回東京都民生委員・児童委員大会



▲日野市民生・児童委員コーラスの皆さん

平成29年11月16日(木)文京シビックホールにて第71回東京都民生委員・児童委員大会が開催されました。この大会は東京都と東京都民生児童委員連合会が主催して、都内の民生・児童委員が一堂に会し、

その課せられた使命について認識を新たに、活動の一層の振興を図るために開催されます。

式典では最初に、平成28年10月～29年9月に逝去された現役委員24名を追悼し、その後東京都表彰規則表彰(43名)、特別功労賞(52名)、一般功労賞(45名)のそれぞれの代表者に壇上で感謝状が贈呈されました。そして、民生児童委員所管職員、関係機関・団体職員に都民連会長から感謝状が贈呈されました。

その後、大会宣言(案)が朗読され、拍手で可決されました。日野市民生委員・児童委員コーラスの皆さんを中心に全員で「民生委員の歌」を合唱して第一部式典が終了しました。第二部は前出のコーラスの皆様、美しい歌声に始まり記念講演となりました。

(広報委員会 記)

### 記念講演

講師 堀内裕子氏

#### 『発達障がいの子と幸せに暮らすヒント —4人のわが子がおしえてくれたこと—』

氏は発達障がいのある4人のお子さんを育てながら、その障がいについて学び、自閉症スペクトラム支援士、傾聴心理士、特別支援士の資格を取得し「発達障害 ハッピーサポート代表」として活躍中です。

ご長男は小学校5年生当時が一番大変で、医師から「このまま行けば、不登校、家庭内暴力、引きこもり、入院になるでしょう」と言われました。ところが、15年後の現在、結婚し2児の父となり、事業を営むまでになりました。長女も結婚し親となり、弟の一人は就職、もう一人は大学生、卒業後の就職も決まっているそうです。

「発達障がいはその特性を本人や家族・周囲の人がよく理解し、その人にあったやり方で日常的な暮らしや学校や職場での過ごし方を工夫すれば、持っている本来の力が生かされる。」と言われますが、それ以上に大切なのは、日々の生活の中で愛されることです。しかし、親が疲れ切ってしまうと子どもにやさしくできない時があります。そんな時、周りの人から優しい言葉をかけられたり、ちょっと助けてもらえると癒や

され、子どもにゆとりをもって接することができます。

子どもは親をはじめ、周りの人から大切にされることによって自己肯定感が高まります。さらに、親や周囲の人が、子どもを信頼して見守る時に明るい未来が拓け、本来持っている力を発揮し、自らの力で歩いていけるそうです。

(6地区 田中礼子 記)



北三谷小 3年 小林のどか 作  
「カラフルなくじゃくが、大きな羽をひらいた」



# 民生委員制度創設100周年記念祝賀会 全員食事も



▲代表挨拶をする小久保連合会長

台風21号の影響がまだ残る平成29年10月25日、浅草ビューホテルで民生委員制度創設100周年記念祝賀会 全員食事もが開催されました。

会場には民生・児童委員約500名が出席し、民生・

児童委員の活動をお支えくださった方々をご来賓にお招きして、感謝の意を表しました。

主催者を代表して小久保連合会長が挨拶しました。引き続きご来賓挨拶で近藤足立区長は「足立区の自慢の数々のなかに民生・児童委員の活動があります。一人ひとりに寄り添ったきめ細かい活動が誇りです。区民を代表して感謝します。」と激励されました。

ご来賓紹介の後、出席者全員からの寄付金31万円が、児童養護施設に贈呈されました。

二部では、五反野祭囃子保存会の里神楽、<sup>あだち</sup>葦立コーン『絆』の合唱を楽しみました。会場は大いに盛り上がり「普段会う機会の少ない他地区の人々と食事をしながら触れ合い、情報交換ができた。全員食事の意味はここにあるわね」という声が聞かれました。

(7地区 志賀口博人 記)

## 「子どもたちはいま」シリーズ8

## 登校サポーター紹介

登校サポーター派遣制度とは、不登校の初期段階である登校渋り状態や不登校状態にある児童・生徒に対して、登校サポーターを派遣して、学校・学級復帰を目指す事業です。

支援の内容は「お迎え支援」と「別室登校支援」があります。

### ①「お迎え支援」

登校サポーターが対象の児童・生徒宅に迎えに行き、一緒に学校に連れていく支援です。

### ②「別室登校支援」

校内の別室（会議室や相談室など）に登校している生徒に寄り添い、学習の援助を行います。

登校サポーターは、20歳以上で本事業に理解と情熱を有する方であれば、特に資格は定めていません。原則として学校で見つけていただきます。また、身分上は区の臨時職員になります。

平成28年度は、「お迎え支援」を小学校8校で、「別室登校支援」を小学校3校・中学校11校で実施しました。支援により7割以上の児童・生徒に改善がみ

られました。

事業の詳細については、教育相談課教育相談係にお問い合わせください。 電話 03 (3852) 2872

(教育相談課教育相談係 記)



東加平小 4年 荏本侑希子 作  
「山おくて昼ねしているキツネを見つけた」



## 部会長紹介



### 障がい者福祉研究部会

羽住圭規 部会長

今期より障がい者福祉研究部会長に選任されました羽住圭規と申します。

障がいには、身体・知的・精神・発達等、細かくは数十種類あると言われています。

そこで、まず、部会メンバー25名がその基礎知識

を取得する研修や種々の施設訪問等を行っていくことで障がいの現状を把握し、見識を深めていきたいと思っています。そして、今後に向けて私たち部員が民生・児童委員の活動の中で、どのような役割を果たしていけるのかを話し合っていければと思っています。

この三年間は短い間かもしれませんが、有意義なものとなるよう、皆様と協力しながら取り組んでいきたいと思っています。



### 生活福祉研究部会

高波国男 部会長

「誰もが笑顔で、安全に、安心して暮らせる社会づくり」は、社会福祉の目的の一つですが、それを実現することは、容易なことではありません。しかし、その中であっても、人と人との支え合いや社会資源を活用することにより、厳しい

現実を緩和する道は開かれていると思います。山本相談役と私達25名の部会員とで、学びと体験の場を通して生活福祉の実情を理解し、少しでも把握できたらと考えています。特に、生活困窮者に対する生活支援・生活保護・自立支援の問題は、深刻さを増して来ているように思います。

部会員一同で、和気あいあいとした雰囲気の中で、学べたら幸いです。皆様方のご指導ご支援を、心からお願い申し上げます。



### 高齢者福祉研究部会

岩戸順子 部会長

一昨年12月に部会長に選任されました岩戸です。よろしく願いいたします。森相談役にご指導いただき、役員の有沢副部会長、高木会計、伊藤書記、田口合同代表、柴田合同代表、桑原合同代表はじめ高齢者福祉研究部会員25名で3年

間しっかり研修して知識を深めていきたいと思っています。

毎年、年間テーマを決めて研修しますが、今年度は「基本的な知識を深める」ということで6月に高齢者福祉・介護の現状について研修、9月に高齢者施設の花畑あすか苑を視察、11月に福祉人材の役割について研修しました。2月には「老い支度」の研修を行いました。来年度以降もより知識を深めて高齢者の皆様に適切な助言・手助けができるよう全員で力を合わせて進めてまいります。



### コーラス部 あだち 葦立コール『絆』

野間一夫 部会長

平成26年7月に産声をあげたコーラス部です。役員で名称を考え、規約を作り、立ち上げた合唱団です。

これまでに社協設立60周年記念式典や民生・児童委員全員研修会、都民連の合唱チャリティーコンサー

トやPR週間式典、全員食事会、足立区合唱祭という大きなイベントで合唱を披露することができました。

社会福祉の増進に寄与するには、まだまだ力不足ですが、民生・児童委員の皆様の前で合唱を披露することも重要な役割の一つであると思っています。

部員相互の連携や親睦も良いです。次のイベントに向けて練習に励んでおり、一步一步着実に前進しています。今後ともあだち葦立コール『絆』へのご支援ご協力をお願い申し上げます。

思いやり 差し出すその手は温かく 地域の人を結びます



## 地域で共に支え合う



▲カフェも営業中

「ふれんどりい（以下、センター）」は、平成10年、足立区営施設としてスタートしました。センターは、精神に障がいをお持ちの方の日中活動を支援するための施設で、平成20年から「社会福祉法人あしなみ」が指定管理者として、3つの事業を運営しています。

1つは地域活動センターふれんどりいで、利用者が地域で自立した生活を送るうえでの相談や助言、生活情報の提供、利用者同士・利用者と近隣住民の方々の交流を図るための集い・憩いの場です。センターの名前は地域活動支援センターふれ

んどりいからとっています。

2つ目が就労継続支援B型事業です。利用者が働く場として4つの部門（事務、発送、菓子製造、清掃）を提供し、利用者の方が働きがいを感じながら活動しています。

3つ目が就労移行支援事業です。利用者が一般就労を目指してトレーニングをするための事業で、きめ細やかな就労支援をしています。

センターは、ボランティアの方をはじめ多くの方に支えられ、地域に開かれた施設づくりを目指しております。平成29年1月、すぐ隣に引っ越しきれいな建物になりました。近くにお寄りの際は、1階でカフェも営業していますので、ぜひお立ち寄りください。

（ふれんどりいセンター長 久米ひろみ 記）

## 広報委員会視察研修

## こころみ学園見学

平成29年11月30日（木）に栃木県足利市にある「こころみ学園」を視察訪問しました。

こころみ学園は、1958年に特殊学級の川田昇先生が、将来、生徒（中学生）の経済的自立支援につながると考え、子どもと一緒に急斜面の山を切り開き、ぶどうの栽培を始めたのが最初です。そして、1980年には、考え方に賛同する保護者などが出資して「ワイナリー工場」を設立しました。

学園の方から「園生は屋外の厳しい自然条件の中での作業で体は逞しくなり、また、仕事を任されることで生き活きと作業を行うようになりました。しかし、全員がすぐに変わったのではなく、10年以上経ったころから変化が表れた人もいました。今は、20歳代から90歳代の知的障がい者の園生約150人とスタッフ130人が働いており、製造されるワインは、航空会社国際線のファーストクラスでも飲まれています。」など、ここに至るまでの苦労や嬉しかった話を伺いました。

こころみ学園訪問の後、鏝阿寺（ばんなじ）を訪

れ、国宝の本堂や樹齢推定570年の大イチョウの紅葉を楽しみました。また、バスの中では、広報誌「さくら」に関する勉強とビデオ研修を行いました。

今回のバス研修にて、知的障がい者への理解が深まり、広報委員会の皆さんとの親睦も図れました。

（神明地区 矢澤敏臣 記）



▲ココ・ファーム・ワイナリーにて



## 町会自治会「地域を訪ねて」シリーズ8 入谷長寿会の活動



入谷長寿会は昭和50年に発足しました。きっかけは、南光寺の住職でもあった当時の町会長橋本光宝様が寺の一部屋を開放し、近所の方に団欒の場所を提供されたことです。

現在の齊藤庄藏会長は6代目となりますが、5年前には会員が30名程に減少し、存続が危ぶまれていました。入谷町会市川会長に相談された関係で私も長寿会に加入し、平成25年、55名で再スタートをきりました。新旧顔合わせ当初は、互いに気を使っておりましたが、今では嘘のようです。年1回の総会・新年会、毎月第2日曜日午後1時～3時に舎人住区センターでカラオケ、体操、輪投げ、盆踊りなどを楽しんでいます。

会員の中で最高齢95歳の中田いそさんが、月例会

に1年間休まず参加され今年の総会において皆勤賞を受賞しました。

平成27年から舎人十号公園の清掃を毎週木曜日に行っています。神社の清掃も昨年まで有志の方で行っていましたが、高齢のため残念ながら40年間でピリオドを打ちました。

ビッグニュース！ 昨年11月15日都老連（東京都老人クラブ連合会）より、永年の功績が認められ、表彰を受けました。現在会員60名中90歳以上4名、80歳以上16名、皆様お元気で頑張っています。

(14地区 丸山まさ子 記)



## 老後を考える シリーズ8

今年の対象者は、私の地区で6名と例年より多くなりました。これから毎年多くなる事が見込まれます。特に注意が必要なのは、民生・児童委員が祝い品を受け取る前に対象者に連絡がいくため、首を長くして待っていらっしゃる方々が多いという点です。去年は「まだ来ないの？」と催促の電話をいただきました。できるだけ早くお届けするよう心掛けております。家族と同居していらっしゃる方は、お会いしたことのない方も多く、これからの見守りのきっかけとしたいと思います。

全体的にはお元気な方が多く、直接ご本人へ手渡すことが出来ました。足立区内共通商品券ということもあり、喜ばれる方が多いように感じましたが、一人暮らしのお年寄りにとっては、その時の会話の方が大事なようです。我々、民生・児童委員としては、それをきっかけとして、見守り等をさらに充実しなければいけないと考えます。敬老祝い品は嬉しいものですが、それ以降の繋がりを続けて行く必要性が重要であ

## 敬老祝い品をお届けして

ると感じさせられました。また、千住地区ではイトーヨーカドーとトポスが建て替え中で、買い物に行く場所がないこと等の悩みも数人から伺いました。そのような会話を積み重ねていくことが大事だと痛感させられた次第です。

ひとつひとつが勉強になり、さらに民生・児童委員としてスキルアップさせていただいたと思います。

(4地区 吉田祐一 記)

入谷南中学校

風吹けば

優雅に泳ぐ

紅葉かな

一年 長谷川 愛

そよかぜに

木々がゆれめく

落穂かな

一年 柴崎 康太

ウォークラリー

不思議な入口

秋みつけ

一年 阪口 英恵

稲干した

黄金に光る

すだれかな

一年 森 太陽

雨の中 汗を流し

稲刈る

一年 岩淵 麻純

倒れても

黄金に輝く

稲穂かな

一年 藤原 成華

新米は 努力の結晶

コシヒカリ

一年 曲田 来夢

魚沼移動教室の体験を詠みました

中学生俳句コーナー



▲盛り上がる 神輿渡御の様子

12年に1度という、花畑大鷲神社の式年大祭が、10月8日（日）挙行されました。この神社の創建は平安時代と伝えられ、さらに日本武尊の信仰とも結びつく、歴史のある神社です。江戸時代には、酉の市の発祥の地でもあり、酉の市には、江戸市中からも参詣人が集まりました。ここで渡御される神輿は、重さもある伝統的な形態で、本格的に担ぎたいという担ぎ手には垂涎的となるものであり、各地から大勢の人が集まりました。

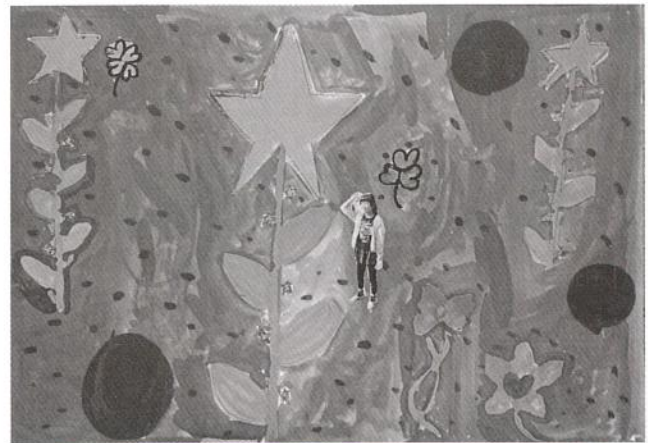
当仲組三丁目町会大祭実行委員会では、折角の大祭なので、町内会でも祭を楽しんでしまおうという趣向で町会独自のイベントを実施しました。

10月7日（土）は早朝より、テント搬入・設営などを行い、午前中にはほぼ準備を終えました。午後は

花畑西小学校の金管バンドの演奏を皮切りに鏡開きを行い、焼きそば・フランクフルト・生ビールなどの模擬店が運営されました。カラオケ大会、奉納おどりは2日間行われました。

10月8日（日）は本社神輿の渡御の日です。午前中から子ども神輿、子ども山車を渡御して、仲組三丁目町会内を練り歩きました。子どもたちも、どこからともなく集まり、山車、神輿の長い列ができました。午後2時半ころより、金棒引き・鼻高面を被った猿田彦・高張提灯・山車より構成される本社神輿の行列が神酒所まえに到着、午後3時には神輿は隣の町会に引き渡され、夕方には無事宮入りとなりました。

（花畑地区 鈴木恒雄 記）



綾瀬小 4年 田村あすか 作  
「お花のくに」

## 足立区は活動記録提出率 100% 継続中です

編集後記

平成 29 年 8 月 3 日に開催しました、足立区民生・児童委員協議会全員研修会において、皆様方からいただきましたアンケートの中に「文字が小さい」とのご意見がありました。回答していただいた方の趣旨を尊重して、文字数を減らし「文字を大きく」す

る等、読みやすい紙面となるように検討しているところです。

今後も、皆様方のご意見を参考に編集・校正していく所存です。

（佐野地区 上野剛 記）

- 小学生掲載絵画および中学生詩歌、俳句の依頼は、  
第一合同から第七合同の小・中学校に順番にお願いしております。
- 皆様の原稿を募集いたします(原稿は未発表のものに限ります)。次号発行予定日 7月1日

広報委員会

委員長 鶴田晴久	副委員長 金子みどり	書記 山崎秀夫	会計 丸山まさ子	編集 田中礼子	レイアウト 齋藤祐子	校正 櫻井春子	森葉子	編集委員 吉田祐一	渡邊進	福原健	鈴木木	江川和子	金宮恒	鈴木木	校正委員 星野明美	松浦恵子	上野敏剛	矢野敏	志賀博人	足立由美子	渡辺章子	小川玲子	益塚賢治	赤羽月
-------------	---------------	------------	-------------	------------	---------------	------------	-----	--------------	-----	-----	-----	------	-----	-----	--------------	------	------	-----	------	-------	------	------	------	-----